

しょうがくせい みな  
小学生の皆さん

せんじつ せいしんかいほんぶ はたら ありた だいがっしょう はい  
先日、ローマの聖心会本部で働いておられるシスター有田から、インターネットでの大合唱が入ったメール

が届きました。50人を超える方々が違った場所で歌っておられて、画面いっぱいに分かれたそれぞれの方

のお顔が映っています。歌はフィリピンの聖歌「pananagutan パナナグータン(責任)」です。この歌は

こうこうせい たいけんがくしゅう うた せい か あいだじゅう さんかしゃ  
高校生のフィリピン体験学習のテーマソングともいべき歌で、フィリピンにいる間中、参加者はいつでもど

こでも、集まると歌っています。そして、卒業後も、参加者の集いをする、必ず皆で一緒に歌うことになりま

す。私を喜ばせようと、分かち合ってくださいましたシスター有田のお心遣いを感謝します。

ところで、この聖歌のタイトルの「責任」ですが、日本語で聞くと何か不思議な感じがするかもしれません。し

かし、フィリピンのカトリック教会では、とてもポピュラーです。そこに込められているのは、私たちはお互いに

たい せいきにん くら ひと たすけ もと ひと み み  
対して責任があるということです。苦しんでいる人、助けを求めている人を見て見ぬふりをするのではなく、

またそうした人々の暮らしに関心を持ち、自分にできる形で助けとなって、少しでもよい状況に変えられる

よう力を尽くすことです。

せいきにん えいご は つと にほんご いみあ  
責任は英語では「responsibility」。「果たすべき務め」という日本語の意味合いよりは、

「response+ability」、すなわち応える能力ということです。「応える」というからには、呼びかけがあるとい

うことですね。私たちの周りで起こっていることを通して、神様は一人ひとりに呼びかけておられます。見て、

き 聞いて、その相手と話し、その暮らしを考えて、そこから生まれてくる気づき、そこにこそ神様からの呼びかけ

が込められているのだと思います。その呼びかけが聞こえたら、どのように応えましょうか。自分にできること

は何でしょう。今、自分は何をして応えたいでしょうか。

こんかい しんがた じたい じんるいぜんたい かみさま  
今回の新型コロナウイルスをめぐる事態は、人類全体への神様

からの呼びかけだと思います。私たち一人ひとり、責任をもって

こた 応えていけますように。

